



# Dialogue

Creating the Next 60 Years

## 『記念事業実施報告書』

2014年6月28日—29日

Formal Approaches to Japanese  
Linguistics (FAJL)



献学60周年記念事業  
国際基督教大学



# Dialogue

Creating the Next 60 Years

Formal Approaches to Japanese Linguistics (FAJL) は理論言語学の観点からの日本語研究を目的とした学会であり、1994年に本学60周年記念教授の宮川繁博士によって設立された。第一回目のFAJL 1がMITで開催されてから今回は7回目になり、20周年記念のFAJL 7が6月27日から三日間に渡ってICUと国立国語研究所の共催で開催された。参加者は延べ137名で、国内外の大学や研究機関の研究者と大学院生が中心となっている。

初日は国立国語研究所、二日目と三日目はICUを会場とし、19の研究発表、43のポスタープレゼンテーションが予定通り行われた。日本語を主なデータとした最先端の言語学（音声学、音韻論、形態論、統語論、意味論）の研究でバランスよく構成された学会となったが、そのうちの5つの研究発表と12のポスタープレゼンテーションはICUの卒業生によるものである。

特筆すべきは、二日目には本学で長年教鞭をとられた井上和子先生もご参加くださったことである。夕方のレセプションにおいてご挨拶をいただいた。FAJL 7の参加者の中には26名のICUの卒業生がおり、学生アシスタントとして運営を手伝ってくれた13名のICU在校生とともに、井上和子先生のICUの言語学へのご貢献に改めて心から感謝する機会となった。

